

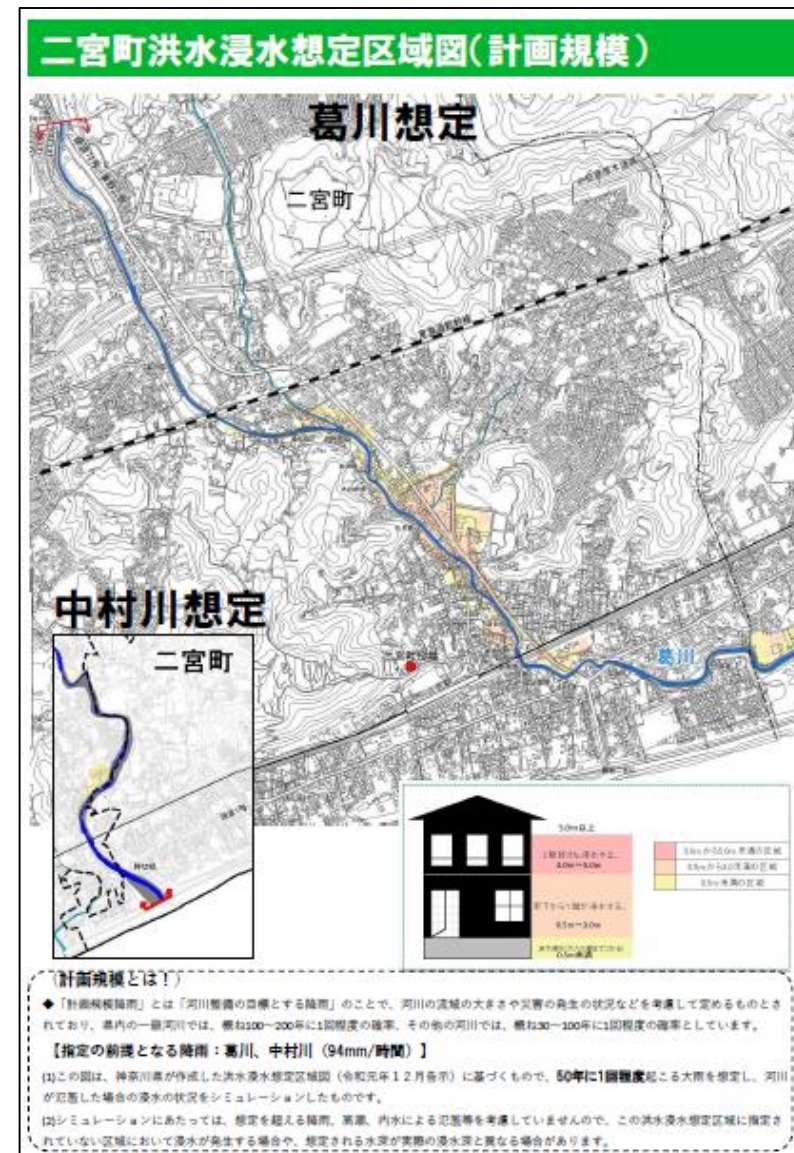
災害リスクについて

補足説明

大雨による災害の想定について

洪水浸水想定区域図

大雨が降って葛川が氾濫した場合
周囲がどのような状態になるか
町の「ハザードマップ」内に示されています。



雨の強さと降り方のイメージ

雨の強さと降り方

(平成12年8月作成) (平成14年1月一部改正)、(平成29年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

1時間雨量 (mm)	報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り				ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数く	道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる				



～想定外の雨の強さ～

※総雨量 (24時間) ではありません

洪水浸水想定区域図（計画規模）

計画規模の場合

(94mm/1時間)

※50年に一度の発生確率 = 2%

凡 例	
浸水した場合に想定される水深 (ランク別)	
	0.5m未満の区域
	0.5m～3.0m未満の区域



洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)

想定最大規模
(時間152mm/1時間)

※1,000年に一度の発生確率 = 0.1%

凡 例	
浸水した場合に想定される水深 (ランク別)	
	0.5m未満の区域
	0.5m～3.0m未満の区域
	3.0m～5.0m未満の区域



浸水継続時間シミュレーション結果



地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）



「地点別浸水シミュレーション検索システム」（浸水ナビ）は、浸水想定区域図を電子地図上に表示するシステムです。

更新情報

令和2年5月25日 3D機能や浸水深が直感的に分かるCG機能を追加しました。

令和2年8月20日 浸水継続時間の凡例について、区分別がわかりやすくなるように修正いたしました。今後、本サイトの浸水継続時間を表す凡例及び配色につきまして、「[洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）2017.10.6](#)」に掲載されている凡例の区分に合わせ、変更する予定です。また、浸水継続時間が12時間未満のデータにつきましても、準備が出来次第、掲載する予定です。

「地点別浸水シミュレーション検索システム」

現在、浸水シミュレーションデータ収集につき一部の地域のデータのみ検索可能です。
今後、順次拡大していきます。現在検索可能な河川は [こちらをご覧ください。](#)

浸水継続時間シミュレーション結果 (1/1000年確率)

40分経過

浸水前
(0cm)



浸水継続時間シミュレーション結果 (1/1000年確率)

60分経過

浸水始め
(39cm)



浸水継続時間シミュレーション結果 (1/1000年確率)

90分経過

浸水最大
(97cm)

地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ)

中心緯度

35.305280

経度

139.258865

移動

度分秒



浸水継続時間シミュレーション結果 (1/1000年確率)

120分経過 浸水低下 (22cm)



浸水継続時間シミュレーション結果 (1/1000年確率)

150分経過 浸水なし (0cm)



洪水浸水想定区域図のまとめ

計画規模（1/50年確率、94mm/1時間）

新庁舎建設想定場所	降雨開始から		最大浸水高さ
	ピークまでの時間	0mに戻る時間	
町営第一駐車場付近	—	—	浸水なし
果樹公園付近	—	—	浸水なし

洪水浸水想定区域図のまとめ

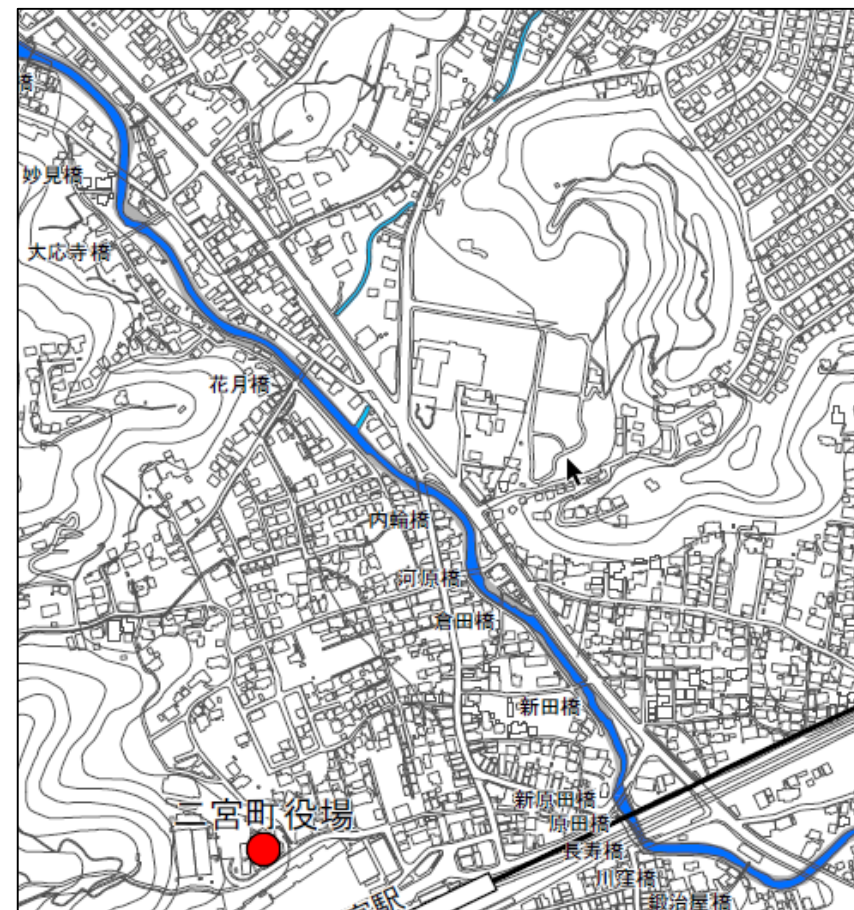
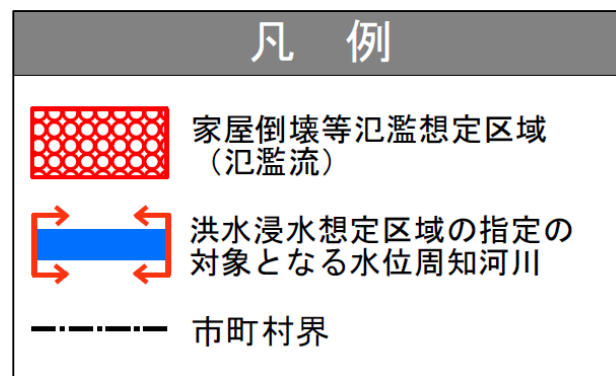
想定最大規模（1/1000年確率、152mm/1時間）

新庁舎建設想定場所	降雨開始から		最大浸水高さ
	ピークまでの時間	0mに戻る時間	
町営第一駐車場付近	90分後	2時間 30分後	97cm
果樹公園付近	—	—	浸水なし

家屋倒壊等氾濫想定区域図について

葛川には「家屋倒壊等氾濫想定区域」がありません

河川があふれても、一時的な水位の上昇下降が生じる動きであり土石流の様に家屋を倒壊したり、土砂まみれで道路が使えなくなるような事態は生じないと考えられます

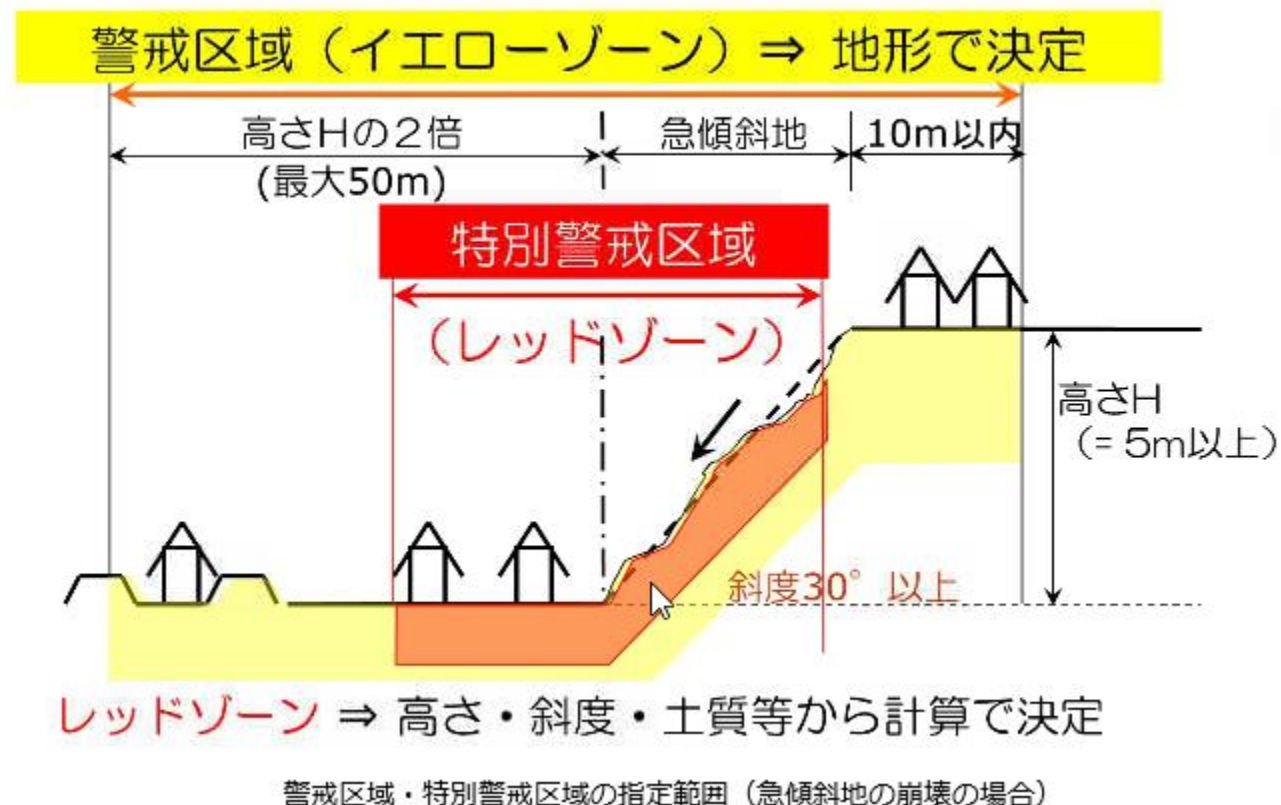


土砂災害警戒区域とは

通称：「イエローゾーン」

擁壁や土留めなどの対策や、盛土・切土などの状態を考慮せず
地形のみで判断したもの

- ① 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
- ② 急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域
- ③ 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍（最大50m以内の区域）

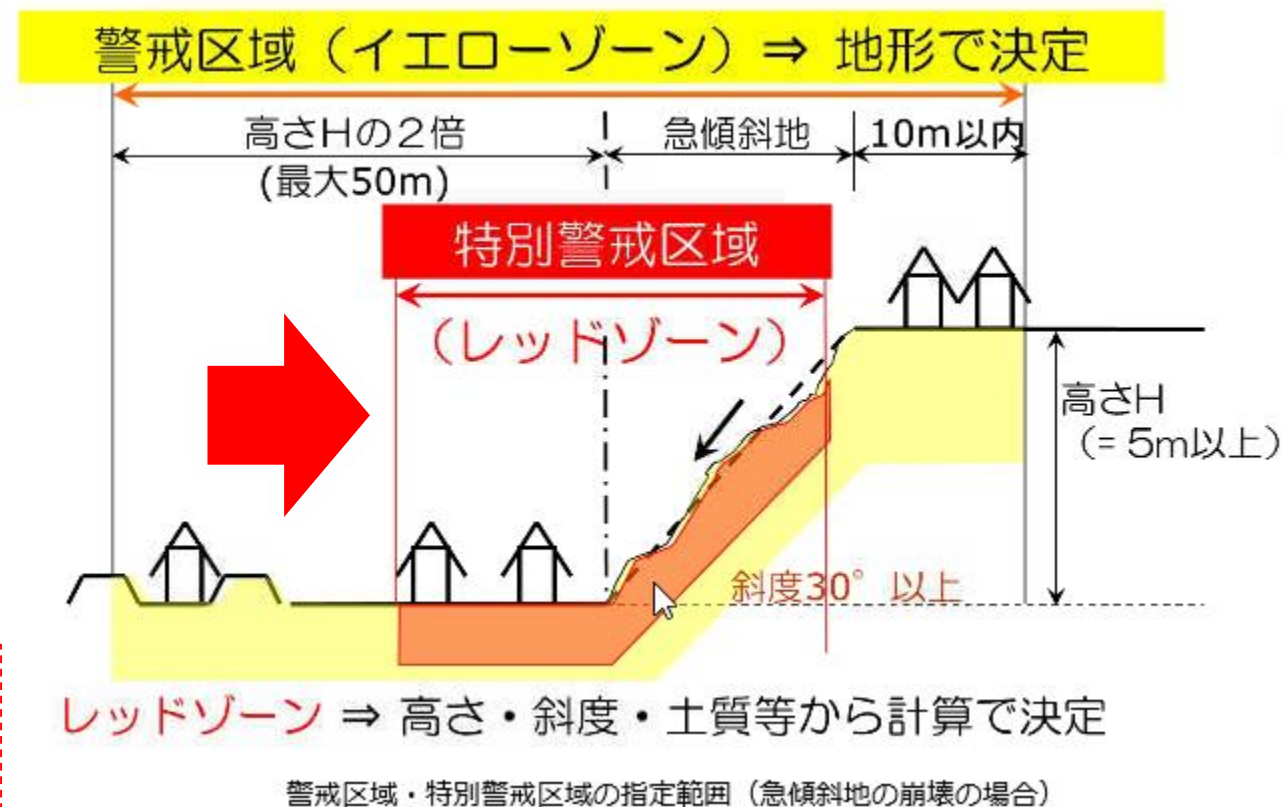


土砂災害**特別**警戒区域とは

通称：「**レッドゾーン**」

個別に調査を実施の上
高さ・斜度・土質等から計算で決定

※町のハザードマップでは、現在、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）のみの表示となっていますが、昨年度の神奈川県データを反映したレッドゾーンを追加する改訂作業を進めています。



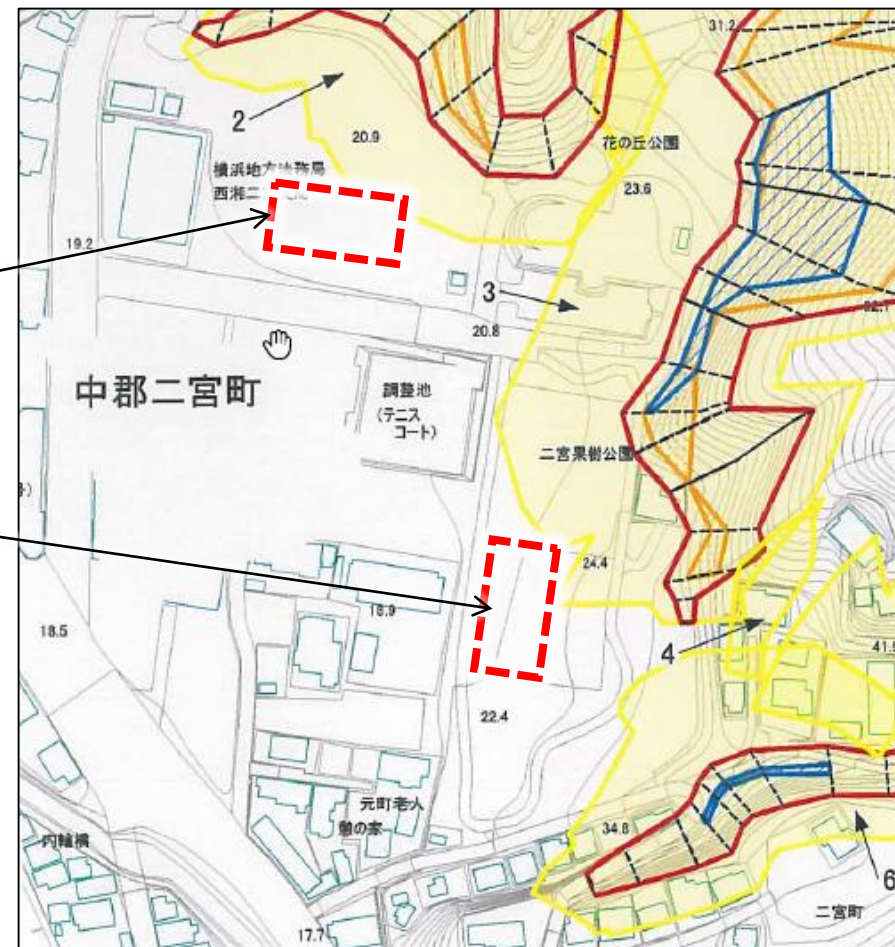
土砂災害警戒区域のまとめ

花の丘公園の整備時に切土し、崩れる心配の無い形状に造成しています。

管理棟整備時に水路や土留めなど一定程度の対策がなされています。

更なる対策として、近接する側を堅牢な鉄筋コンクリート壁とするなどの対策も考えられます。

新庁舎建設の想定場所



※神奈川県公表データより抜粋